

## 建築等計画概要書

### 1 建築等工事主等の概要

#### (1) 建築等工事主

イ 氏名のフリガナ \_\_\_\_\_

ロ 氏名 \_\_\_\_\_

ハ 郵便番号 \_\_\_\_\_

ニ 住所 \_\_\_\_\_

#### (2) 設計者

イ 資格 ( ) 建築士 ( ) 登録第 \_\_\_\_\_ 号

ロ 氏名 \_\_\_\_\_

ハ 建築士事務所名 ( ) 建築事務所 ( ) 知事登録第 \_\_\_\_\_ 号

ニ 郵便番号 \_\_\_\_\_

ホ 所在地 \_\_\_\_\_

ヘ 電話番号 \_\_\_\_\_

#### (3) 工事監理者

イ 資格 ( ) 建築士 ( ) 登録第 \_\_\_\_\_ 号

ロ 氏名 \_\_\_\_\_

ハ 建築士事務所名 ( ) 建築事務所 ( ) 知事登録第 \_\_\_\_\_ 号

ニ 郵便番号 \_\_\_\_\_

ホ 所在地 \_\_\_\_\_

ヘ 電話番号 \_\_\_\_\_

#### (4) 工事施工者

イ 氏名 \_\_\_\_\_

ロ 営業所名 建設業の許可 ( ) 第 \_\_\_\_\_ 号

ハ 郵便番号 \_\_\_\_\_

ニ 所在地 \_\_\_\_\_

ホ 電話番号 \_\_\_\_\_

### 2 計画の内容

#### (1) 行為の場所

#### (2) 行為の種別

#### (3) 建築物の概要

#### (4) 建築物の形態意匠の内容

(5) 行為の着手予定日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

(6) 行為の完了予定日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

#### (7) その他必要な事項

#### (8) 備考

### 3 計画の内容を示す図面

- (1) 建築物の敷地の位置及び当該敷地の周辺の状況を表示する図面
- (2) 当該敷地内における建築物の位置を表示する図面
- (3) 建築物の彩色が施された二面以上の立面図
- (4) その他必要な図面

#### 備考

- 1 1及び2は、様式第2の写しに変えることができる。この場合には、最上段に「建築等計画概要書」と明示すること。
- 2 工事監理者又は工事施工者が未定のときは、後で定まってから工事着手前に届けること。この場合には、市町村が届出のあった旨を明示した上で記入すること。
- 3 建築物の敷地の位置及び当該敷地の周辺の状況を表示する図面には、縮尺、道路及び目標となる地物並びに隣接する土地における建築物の位置を明示すること。
- 4 当該敷地内における建築物の位置を表示する図面には、縮尺、申請に係る建築物と他の建築物との別、土地の高低及び敷地の接する道路の位置を明示すること。
- 5 建築物の彩色が施された二面以上の立面図には、縮尺を明示すること。
- 6 その他必要な図面は、景観法施行規則第19条第2項第6号の図書について記載すること。

## <概要書、配置図記載時の注意点>

- 注1 提出部数は2部（正本1部、副本1部）
- 注2 図面の縮尺はA3版に納まるよう調整してかまわない。
- 注3 彩色が施された立面図に屋根及び外壁色のマンセル値を記載すること。
- 注4 屋外に設置される附属車庫、附属物置、灯油タンク、プロパン庫、エアコンの室外機等についても配置図に記載すること。
- 注5 灯油タンク、プロパン庫等を木柵等で目隠しする場合は、配置図に具体的に記載すること。
- 注6 敷地及び周辺の状況がわかる現況写真を添付すること。また、当該敷地内における建築物の位置を表示する図面に写真を撮影した方向を記載すること。